科目名	基礎数学Ⅱ Fundamental Mathematics Ⅱ			担当教員	谷口　浩朗		
学　年	１年	学　期	通年	履修条件	必修	単位数	３
分　野	一般	授業形式	講義	科目番号	13120005	単位区分	履修単位
学習目標	以下の事項について基礎理論を理解し基本的な問題が解けるようになること： ・三角関数をはじめとする基本的な関数の定義、基本性質、グラフとその応用。 ・集合、論理、場合の数						
進め方	教科書にそって講義する。基本事項と例題を解説したのち、練習の問題、チェック問題や章末問題のプリント、付属の問題集を用いた演習を行う。						

学習内容	学習項目（時間数）	学習到達目標
	０．ガイダンス(1) １．三角比(11) (1) 三角比、単位円、その演習(8) (2)相互関係、一般角、孤度法(3) ２．集合と場合の数(20) (1) 集合と要素の個数(7) (2) 場合の数(3) (3) 順列１(2) ［前期中間試験］(2)	※ 三角比の定義を理解し、簡単な値を計算できる。 ※ 集合の記号を知り、簡単な例に適用できる。 ※ 簡単な場合の数を計算できる。 ※ 学習・教育目標との関連：B－ １
	試験の返却と解説(1) (4)順列２(2) (5)組合せ(3) (6)二項定理(3) ３．論理と集合(8) (1) 命題と条件(5) (2) 逆裏対偶(2) (3) 背理法、演習(1) 前期末試験	※ 組合せ順列の基本を理解し、簡単な計算に適用できる。 ※ 簡単な命題の真偽を判定でき、必要条件や十分条件が判別できる。 ※ 学習・教育目標との関連：B－ １
	試験の返却と解説(1) ４．平面図形(5) (1) 三角形の五心、接線など(5) ５．図形と計量(11) (1) 三角比の復習、相互関係と例題(2) (2) 正弦定理、余弦定理(5) (3) 三角形の面積(3) (4) 演習(1) ６．三角関数(26) (1)三角関数、相互関係、等式証明、性質(5) ［後期中間試験］(2)	※ 三角関数の相互関係等の公式を基本問題に適用できる。 ※ 正弦定理と余弦定理を簡単な例に適用できる。 ※ 学習・教育目標との関連：B－ １
	試験の返却と解説(1) (2)三角関数のグラフ(7) (3)三角関数の性質、方程式・不等式(4) (4)加法定理と演習(10) 後期末試験 試験返却と解説(1)	※ 三角関数の基本的なグラフが描ける。 ※ 三角関数の簡単な方程式・不等式が解ける。 ※ 加法定理を覚え、基本問題に適用できる。 学習・教育目標との関連：B－ １

評価方法	レポートや演習課題の割合を 10%、小テストを含む試験を 90%として評価する。
履修要件	特になし
関連科目	基礎数学Ⅱ（1 年）　→　微分積分（2 年）
教　材	教科書：「新版数学Ⅰ」「新版数学Ａ」「新版数学Ⅱ」（実教出版） 問題集：「チャート式（白）」（数研出版），「アクセスノート数学Ⅰ＋Ａ，Ⅱ＋Ｂ」（実教出版）
備　考	